



## Chinese Literature

# 中国文学専修

中国文学は大阪大学文学部の中でも比較的若い専修で、文学のみならず古典時代の政治や経済・歴史・言語・哲学・芸術など、人間に関わるさまざまな問題をめぐって教育・研究が行われています。中国学の伝統に立脚しながらも、新たな風を吹き込もうとする若々しい活気に満ちています。

中国の文学者たちは古くから人間のさまざまな活動に興味を示してきました。本専修では、もちろん文学を中心に教育・研究が行われていますが、その志は高く、中国の文学者が興味を持ったすべてのものに等しく興味を持つようとしています。それは他でもなく、彼らが言葉で表現したすべてを、なるべく元のニュアンスで読み解こうとしているからです。言葉の分析を通して、人間という存在が生み出すさまざまな問題について考えてみましょう。そして、自由に発言し、討論してみましょう。授業においては中国の文献を読むうえでの基礎的訓練が行われますが、テキストの前では年齢や立場の違いはありません。本専修の若さはそういう面で発揮されています。

### 教員

あさみ・ようじ  
浅見洋二 教授  
りん・ぎょうこう  
林 暁光 准教授

<https://www.let.osaka-u.ac.jp/chubun/> (研究室ホームページ)

<https://forms.gle/faexVTRPAVc6e8ga7> (お問い合わせフォーム)

### 何を学んでいるの？

#### 中国文学講義

漢魏六朝および唐宋の時代を中心とする中国古代の文学を、さまざまな側面から考察し、その全体像に迫ります。中国古典の特質を把握し、それをもとに人間や社会の本質をより深く思考することを目指します。

#### 中国文学演習

中世文学を代表する『文選』や、宋代の蘇軾・陸游の詩、魯迅など現代文学の作品を取り上げ、中国文学研究に必要な知識と読解能力を身に付けます。毎回、担当者が作成した訳注稿・レジュメを基に、全員で意見を出し合い、検討を進めます。

### どんな授業があるの？

#### 【講義題目】

中国文学の大勢  
—— 古代から現代へ  
中国古典小説の研究  
唐宋詩学の諸問題  
中国の文化と文学

#### 【演習題目】

中国学研究法  
蘇軾・陸游の詩を読む  
『文選』を読む  
近現代文学研究

### 教員が選ぶ印象に残った卒業論文

#### 「人殺し」の文学

##### —— 殺人描写から見た水滸伝のおもしろさ

『水滸伝』は、言わずと知れたアウトローたちの物語。社会の周縁部でうごめく人間の姿が躍動する。その躍動を「人殺し」という視点から切り取ってみせたところに、本論文の魅力はある。人間にとって「悪」とは何か、そういった根源的な視点を忘れていないところも評価できる。(選：浅見洋二教授)

#### 【卒業論文題目】

永州時代の柳宗元の読書観  
李商隱「驕兒詩」に関する考察  
王昌齡の離別詩について  
『説岳全伝』における岳飛の人物造形

**中文を選んだ理由は？**

**A** 少し不安で迷っていた時に中国文学の研究室を覗いてみたら、和気あいあいとしていて楽しそうだったのでこの研究室に決めました。学生の方や先生が中国文学の魅力を語ってくださって、楽しそうに勉強や研究をしているなと思いました。

**B** もともと漢詩に興味があり、高校生の時から大学では中国文学を学ぼうと決めていました。研究室に訪問すると快く迎え入れてくださり、「学問」の面でも「人」の面でも大満足してこの研究室を選びました。

**C** 私はこれまで愛好してきた日本文学作品をより深く理解するのに役立つような学問分野に進みたいと、かねてより思っていました。ぎりぎりまで4つの専修で迷っていたのですが、研究室の雰囲気よかったです。このに加え、より多くの刺激を受けられそうだったため、最終的に中文を選びました。

**D** 最初は歴史と文学のどちらを選ぶか悩んでいましたが、やはり自分のルーツと繋がっている中国文学を専攻することにしました。ちなみに、私は人と話をするのが大好きですので、この研究室のアットホームな雰囲気に惹かれて、思わず入ってしまったところもあります(笑)。

**現在興味を持っていること**

**A** 授業で勉強した詩詞や魯迅の小説を面白いと思っています。

**B** 詩における自然の表現、特に雨の描写に興味を持っています。

**C** 中国文学と日本文学の関わりに興味があります。

**D** 楽府や詞に興味を持っています。

**授業について**

**A** 授業は詩を訳したり、文学史を学んだり、論文を読んだり、いろいろあります。どれも自分で深く考えて、他の方の意見もたくさん聞ける良い機会になっています。

**B** 文学、特に古典となるとお堅いイメージがありますが、授業はとても明るい雰囲気、意見が飛び交っています。扱う内容はハイレベルですが、先生や先輩方の助けのおかげで爆速で成長できました。

**C** 私は中国文学に関する知識がほとんどない状態で入ったので、授業では難しく感じられることもたくさんあります。ですがそれがかえって面白く、非常にやりがいを感じます。

**D** 私が特に好きなのは演習の授業です！主に訳注稿を作っていて、かなり難しいですが、詩の一字一字を考えていきますので、作品を読み解くにはとても良い練習です。同じ作品に対して、皆が様々な意見を交換することを面白く思っています。

**研究室の雰囲気**

**A** 入ったばかりでも気軽に行けて、分からないことがあればすぐに先輩や先生に質問することができます。留学生の方も大学院生の方も親切で話しやすい人ばかりです！

**B** 研究室は常に人がおり、お茶とお菓子とともに迎え入れてくれるので、ふらっと立ち寄れます！

**C** アットホームな雰囲気、先生方も学生も親切で優しいです！

**新入生へのメッセージ**

**A** 私は研究室に入るまで中国文学の授業を取ったことがなく、ほとんど何も知りませんでした。毎日新しいことを楽しく学んでいます。ちょっとでも興味がある方は、来てもらえたらきっと良いと思います！

**B** 私は中国文学を学びたいという強い思いがありましたが、そうでなくても絶対に楽しい授業・研究室です！少しでも興味があれば気軽に研究室に来てください！！

**D** 中国文学を勉強したい方はもちろん、「中国文学ってどういうものだろう」という方も、ぜひこちらの研究室に入ることを考えてください！中国文学は決して堅苦しい説教ばかりではありません。好きなテーマや詩人について話し合い、知識を増やしながら楽しい雰囲気自分なりの研究を進められるのは、何より良いことだと思います。

[インタビュー協力]

Aさん(2年)

Bさん、Cさん、Dさん(3年)



大阪大学中国文学研究室教員共著による『皇帝のいる文学史：中国文学概説』の中国語訳  
鳳凰出版社/2021